

■ 男女共同参画を推進する具体的施策の取組状況調査(平成22年度)

基本目標	方針	施策の方向	具体的施策 (平成18年度～平成23年度)	平成22年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
I 男女が互いの人権を認め合う意識づくり	1 男女共同参画意識の啓発	(1) 広報・啓発活動の推進	1 男女共同参画に関する研修会の開催 ① 市民対象に、男女共同参画啓発講演会の開催(1回/年) ② 市職員対象に、男女共同参画啓発研修会の開催(1回/年)	①②市民(市職員含む)対象に男女共同参画社会啓発講演会を開催した。 6月24日(木)開催 参加者180名 ②H22.6.30～9.9(計6回講座)男女共同参画ゼミナールの研修派遣(2人) ②「たかはしWithフォーラム」主催男女共同参画学習会への参加 H23.3.2 テーマ「子育て」 参加職員8名	参加者180名 延べ12回 参加職員8名	社会教育課 総務課 企画課
			2 広報紙、ケーブルテレビ、パンフ等による広報・啓発活動 ① 広報紙への男女共同参画に関する記事掲載 ② 人権啓発リーフレット「きずな」の作成・配布(1回/年・14,000部)	①広報紙により講演会、学習会の案内等の情報提供を行った。 ①DV相談無料ダイヤルの周知について、広報誌、行政チャンネルにより情報提供を行った。また、市内公的機関、大型買物店2店の女性用トイレ内にDV相談カードを設置し、情報提供を行った。 ①関係ポスターを庁舎内掲示板等に掲示し情報提供を行った。 ②人権啓発リーフレット「きずな」を作成し、広報誌(11月号)配布時に各町内会を通じて、各戸に配布。また、市内各校園や公民館に配布。各種研修会でも活用。	10回 236枚 3回	企画課 社会教育課
		(2) 調査研究・情報提供	1 男女共同参画に関する情報収集、実態の把握	1 市町村男女共同参画施策担当課長・担当者会議、岡山県都市男女共同参画推進会議に出席し、国・県・市町の推進状況等について情報交換を行った。	2回	企画課
	2 男女共同参画意識を高めるための教育・学習の充実	(1) 家庭教育の推進	1 人権教育、男女平等教育の推進 ① 学習機会の充実(PTA対象研修会) ② 情報の提供	①各校園がPTA対象に人権教育研修会を実施した。内容的には子どもや障害者に関する人権が多かったが、インターネットによる人権侵害についても取り上げた。 PTA2,150名。講師25名。 ②6月23日から29日の男女共同参画週間について、ポスター掲示等で啓発を行った。		社会教育課 社会教育課
		(2) 学校教育の推進	1 人権教育、男女平等教育の推進 ① 学校教育全体(教科指導、進路指導、生徒指導など)での実践 ② 教職員研修の充実	①人権教育年間指導計画に基づき学校教育全般において発達段階や実態を考慮した指導の実施。特に12月の人権週間を中心に男女平等を含めた人権に関わるテーマを掲げての取組を学年集会や道徳等の時間を利用して行った。 ②人権をテーマとした校内研修を継続的に開催 県総合教育センター及び市教委主催の人権教育研修会への参加と校内への還元を通して教職員研修の充実を図った。		学校教育課 学校教育課
		(3) 地域等における学習の推進	1 人権教育、男女平等教育の推進 ① 学習機会の充実 ② 情報の提供 ③ リーダーの養成 ④ 社会教育施設等の活用の支援	①②③ 指導者養成を目的として、人権問題学習講座を開催し、各公民館長から推薦された受講生が人権問題について研修した。6回開催。受講者延べ605名。 6回開催の中で、1回を男女共同参画社会に焦点を当てて実施した。 ①③ 地域のリーダー養成を目的に、婦人大会を開催し、男女共同参画の研修を行った。 2月10日(木)開催 参加者89名		社会教育課 社会教育課 社会教育課 社会教育課
	3 人権尊重意識の高揚	(1) 女性に対するあらゆる暴力根絶のための環境整備	1 人権に関する相談体制の充実 ① 弁護士による無料法律相談の開催(15回/年) ② 人権擁護委員による人権相談の開催(38回/年) ③ 高齢者の人権相談	①弁護士による無料法律相談の開催(高梁12回・成羽3回)60件 ②岡山地方法務局による人権相談の回数 ③高齢者虐待103件、成年後見制度利用支援143件	①15回/年開催 ②40回/年開催 ③246件	市民課 市民課 保険課
			2 関係機関との連携によるDV相談と救済体制の充実	女性への虐待DVについては、母子自立支援員を相談窓口として相談を受け、必要に応じて警察署、女性相談所等の関係機関へ送致することとしている。 相談人数 7人(内送致人数 2人)	相談人数7人	子ども課
		(2) メディアにおける人権の尊重	1 広報紙等の発行における人権への配慮	広報紙への掲載について、人権への配慮に努めた。		秘書課

基本目標	方針	施策の方向	具体的施策 (平成18年度～平成23年度)	平成22年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課	
II あらゆる分野へ男女がともに参画できる社会づくり	場1 政策・方針決定の 大の女性の参画拡	(1) 各種審議会・委員会等への女性の積極的登用	1 各種審議会・委員会等への女性の登用率の向上促進	1 高梁市男女共同参画推進委員会において、H21年度における登用率(21.0%)を周知するとともに、向上への取り組みを依頼した。また、内規のより引き続き女性委員の30%以上の登用努力を依頼した。	H20 21.6% H22 21.0%	企画課	
		(2) 女性の人材育成と管理・指導的立場への登用促進	1 女性の昇任・登用の積極的に実施 2 女性管理職研修の実施 3 女性を対象とする政策実務研修への派遣	1 平成23年度人事異動女性の昇格者17人(内課長級1人、補佐級4人、係長級他12人) 2 男女問わず管理職員研修を実施 3 市町村アカデミー政策課題研修1人、全国市町村国際文化研修所政策実務研修1人	1 17人 2 女性36人 3 2人	総務課 総務課 総務課	
	2 家庭・地域社会における男女共同参画の促進	(1) 家庭生活での男女共同参画の促進	1 家庭生活に必要な技術等の取得 ① 介護講習会の開催(2回/年) 2 男性への各種教室への参加促進 ① 家族介護教室(15会場/年)	① 介護講習会の実施 ① 要介護被保険者を現に介護している人等に介護方法の指導、適切な介護知識・技術及び外部サービスの適切な利用方法の習得等を内容とした教室を開催した。	7回 6回 117名 うち男性30名	商工観光課 保険課	
		(2) 地域活動等への男女共同参画の促進	1 地域づくり活動等への男女共同参画の促進 ① 各種まちづくり講座、リーダー研修会等への女性の参加促進 2 女性消防団員の加入促進 ① 消防団への女性消防団員の加入促進	① 地域住民によるまちづくり活動、コミュニティ活動等への男女共同参画のため、まちづくり協議会への委員の登用に努め活動への参画を図った。 ① 平成22年4月1日の女性団員数は25名であったが、団員等を通じての勧誘、ポスターや広報誌を利用した加入促進の結果、2名の入団があり平成23年3月末現在、27名となった。(平成23年4月1日1名入団し、現在28名)	① 2名の入団	市民課 消防総務課	
	3 国際交流・国際貢献の推進	(1) 国際交流活動の推進	1 市民団体との連携 高梁市国際交流協議会の活動支援 ① 外国人学生と市民の交流(1回/年) ② 国際姉妹都市中学生の受入れ(1回/年) ③ 外国文化交流との交流(1回/年) ④ 留学生と市民の交流(1回/年)	① 国際建築都市デザインワークショップのため来高した8カ国40名の学生に日本文化を体験してもらうため、商工会議所女性部に協力していただき、頼久寺でお茶会を開催した。 ② 国際姉妹都市トロイ市へ高梁市中学生訪問団を派遣した。訪問団は、スイムパーティやアイススケートなどに参加し、ホームステイにより8日間滞在した。(訪問団：中学生16名、引率者3名) ② 国際姉妹都市トロイ市から訪問団をホームステイにより受入れた。訪問団は、備中中学校訪問、松山城登城、松山踊りなどへ参加した。(訪問団：学生7名、引率者4名) ③ トロイ市と国際姉妹都市締結20周年を記念して、トロイ市へ訪問した。一行はいちご祭り、備中神楽公演や特別議会等へ参加した。(公式訪問団：市長、議長、協議会会長、阿部社5名、市職員1名) ④ 吉備国際大学留学生の松山踊りへの参加支援を行った。(留学生11名参加)	1回 1回 1回 1回	企画課 企画課 企画課 企画課	
		(2) 国際貢献活動の推進	1 国際貢献活動への参加促進 2 国際貢献に取り組む団体の活動支援	岡山県国際課、岡山県国際交流協会が開催するセミナーのチラシ配布を行い、参加啓発に努めた。 多文化共生や国際貢献に対する意識啓発を図ることを目的にキャスターの中村容子氏を講師に招き講座を開催した。(参加者64名)	1回	企画課 企画課	
	III 男女がいきいきと働ける環境づくり	1 働く場における男女共同参画のための環境整備	(1) 男女の均等な雇用機会と待遇の確保	1 男女の均等な雇用の推進 ① 岡山労働局、財団法人21世紀職業財団岡山事務所との連携			商工観光課
			(2) 働きやすい職場環境の整備	1 育児休業、育児・介護等の休暇制度の活用促進	(平成22年度中) ① 育児休業新規取得者 7人 ② 育児休業継続者 10人 ③ 育児休業延長者 1人 ④ 再度の育児休業取得者 0人 ⑤ 介護休暇取得者 0人	① 7人 ② 10人 ③ 1人 ④ 0人 ⑤ 0人	総務課

基本目標	方針	施策の方向	具体的施策 (平成18年度～平成23年度)	平成22年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課	
Ⅲ 男女がいきいきと働ける環境づくり	1 働く場における男女共同参画のための環境整備	(2) 働きやすい職場環境の整備	2 セクシャル・ハラスメント防止のための啓発促進 ① 岡山労働局、財団法人21世紀職業財団岡山事務所との連携 ② 企業訪問等による啓発(1回/年) 3 育児休暇、介護休暇の取得促進 ① 岡山労働局、財団法人21世紀職業財団岡山事務所との連携 ② 企業訪問等による啓発(1回/年)			商工観光課 商工観光課 商工観光課 商工観光課	
	2 女性の就業等支援の促進	(1) 女性の職業能力開発と再就職等の支援	1 職業能力開発のための講座等の開催 ① 訪問介護員養成研修(1会場/年) 2 女性の再就職等の支援 ① 再就職セミナーの開催(1回/年) 3 就職相談及び職業情報資料の提供 ① 母子自立支援員による相談体制の充実 ② シルバー人材センターとの連携	①現在実施していない。 ①子どもの養育や生活について、様々な不安や悩みを抱えるひとり親家庭等に適切な対応を行なうために、母子自立支援員による情報提供、相談業務をはじめ、求職活動に関する支援を行なった。 母子自立支援員相談件数 延 386件 内就職に関する相談件数 延 29件 ②社会福祉法人高梁市社会福祉協議会へミニシルバー人材センター業務を委託し、高齢者の社会参加を促進した。	相談件数延 29件 登録者 285名中、105名が女性	川上地域局 地域振興課 商工観光課 子ども課 福祉課	
		(2) 自営業等に従事する女性の支援	1 労働者としての権利の確保 ① 岡山労働局、財団法人21世紀職業財団岡山事務所との連携 ② 会議等でのパンフレット等の配付による啓発促進	②平成23年1月14日に開催した高梁農村生活交流グループ協議会の役員会において、パンフレットを配布し、啓発・普及を行った。	7名	商工観光課 農林課	
	3 家庭と職場の両立支援	(1) 男女の家庭的責任の啓発	1 労働時間短縮の推進 ① 国県との連携による推進				商工観光課
		(2) 育児・介護との両立のための環境整備	1 育児・介護休業の普及啓発 ① 岡山労働局、財団法人21世紀職業財団岡山事務所との連携 ② 企業訪問等による啓発(1回/年) 2 子の看護休暇の対象拡大 ① 学校就学の始期に達するまでの子から小学校3年までの拡大	①子の看護休暇の取得促進(平成18年度に小学生3年生までに拡大)		延67日3時	商工観光課 商工観光課 総務課

基本目標	方針	施策の方向	具体的施策 (平成18年度～平成23年度)	平成22年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
IV 男女がともに健やかに過ごせる生活づくり	1 生涯を通じた男女の健康支援	(1) ライフステージに応じた健康支援	1 乳幼児健診の実施 ① 乳幼児の心身の発達状況を見るとともに、保護者の育児上の不安や悩みについてアドバイスする。 ・乳児健診(24回/年) ・1.6歳児健診(14回/年) ・2.6歳児健診(14回/年) ・3歳児健診(14回/年)	①乳児期前期・後期、1.6歳児、2.6歳児、3歳児の児を持つ保護者を対象に、一人5回の健診の場を提供している。健診により、児の発達状況の確認とともに、毎回、育児支援アンケートを実施している。アンケートを元に、育児についての不安や悩みをしっかりと聞くことにより、育児不安の軽減を図り、育児についてのアドバイスを行う。また、育児支援アンケートの結果により、要支援、要注意、要指導と指導の優先順位をつけて健診事後フォローを行っている。 未受診者については、各担当保健師により、健診再勧奨及び未受診者の状況を把握している。		健康づくり課
			2 基本健康診査の実施 ① 受診率を向上させるための普及啓発(特に40～50歳代) (受診者3,800人/年)	2 特定健診の実施状況 ①受診券は個人通知とし、愛育委員さんを通じ、受診勧奨を行なった。 また、オフトーク、有線放送等での広報活動も行なった。 平成22年度 受診者 1447人		健康づくり課
			3 がん検診の実施 ① 乳がん検診(受診者1,600人/年) ② 子宮がん検診(受診者1,500人/年) ③ 胃がん検診(受診者3,000人/年) ④ 大腸がん検診(受診者4,100人/年) ⑤ 前立腺がん検診(受診者900人/年)	3 がん検診の実施状況 ① 乳がん検診(受診者人1716/年)がんであった者 3人 ② 子宮がん検診(受診者1386人/年)がんであった者 0人 ③ 胃がん検診(受診1813人/年)がんであった者 5人 ④ 大腸がん検診(受診者2860人/年)がんであった者 2人 ⑤ 前立腺がん検診(受診440人/年)がんであった者がん発見者 2人 ⑥ 結核肺がん検診(受信者3578人/年)がんであった者がん発見者 6人		健康づくり課
			4 若い女性の検診の実施 ① 18～39歳の女性を対象とした健診(骨密度健診を含む)(受診者200人/年)	4 市内4会場で実施。 (問診、理学的検査、血液検査、血圧測定、尿検査、身体計測、骨塩量測定) 受診者135人 要精検4人 要医療5人 健康教育4回 参加者延べ人員55人		健康づくり課
			5 育児学級、育児相談の実施(6回/年)	5 親子教室、育児相談、離乳食教室等を実施し、子育ての方法や疑問、不安、悩みについて個人の生活スタイルや要望にあわせ、解決に向けての支援を行なった。同年代の子どもを持つ親同士の交流も深めることができた。 育児相談延18回 親子教室16回 離乳食教室4回 保護者163人乳幼児196人		健康づくり課
			6 生活習慣病予防のための健康教育、健康相談の実施(1～2回/月)	6 生活習慣病予防、介護予防のための健康教育、健康相談の実施 特定保健指導67回 積極的支援38人 動機付け支援149人 情報提供1052人 健康教育111会場 参加延べ人員6568人 健康相談53回 参加延べ人員629人		健康づくり課
			7 介護予防のための健康教育、健康相談の実施(1～2回/月)	7 介護予防のための健康教育、健康相談等の実施 健康教育 特定高齢者68回 参加延べ人員304人 一般高齢者161回 参加延べ人員3318人 健康相談 特定高齢者18回 参加延べ人員304人 一般高齢者50回 参加延べ人員561人		健康づくり課
			8 栄養教室、男性料理教室、すこやか子供料理教室等食育に関する教室の実施(1～2回/月)	8 栄養教室、食生活改善講習会等食育に関する教室の実施 機能訓練168回 参加者のべ3370人 栄養教室2会場20回 参加者延べ574人 ライフステージごとの食生活講習会129会場で実施 参加者2328人		健康づくり課

基本目標	方針	施策の方向	具体的施策 (平成18年度～平成23年度)	平成22年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
IV 男女がともに健やかに過せる生活づくり	1 生涯を通じた男女の健康支援	(2) 性と生殖に関する健康・権利についての意識の啓発	1 男女が心身ともに健康であり続けるための意識啓発 ① 思春期ふれあい事業を市内の中学生を対象に実施(市内7中学・13回/年) ② パパとママのすこやか安産教室(10回/年) ③ 不妊治療支援事業の実施 ④ 妊婦健診給付金事業の実施(250件/年)	①ふれあい体験の前に行われる事前授業では生と性の問題について、助産師、から話を聞く。ふれあい体験乳児と保護者の協力を得て交流を行った。また、実施前後にアンケートを行った。(赤ちゃんのかわいさ、親子の絆、両親への感謝等の感想がだされた) ④出生届時に説明を行い、申請を受けた。母子手帳の交付は187件〔平成22年〕 HTLV-1抗体検査を追加実施 70件〔平成22.10.6～平成23.3.31〕	市内6中学校で事前学習11回 体験学習5回 平成22年出生数200名に給付	健康づくり課 健康づくり課 健康づくり課 健康づくり課
		(3) 健康をおびやかす問題についての啓発	1 性感染症予防のための啓発 ① 思春期ふれあい事業におけるエイズ、性感染症予防等についての健康教育 ② エイズ・性感染症検査(高梁保健所) ③ 学校との連携	①中学校及び高等学校と連携し、思春期ふれあい教室やエイズ講座で性感染症に関する講演を行った。 ②世界エイズデーに併せた知識普及啓発活動等や検査、相談を保健所で実施 ・子宮頸がんワクチンを実施 251件 対象: 中学1年～高校1年の女子〔平成23.1.4～平成23.3.31〕	①思春期ふれあい教室の講座として5 中学で実施 健康づくり課 健康づくり課 健康づくり課	
	2 安心して子育てできる環境の整備	(1) 子育て支援対策の充実	1 保育体制の整備 ① 保育園の充実(延長保育)(4園) ② 学童保育の充実(1314箇所) ③ 保育サロンの開催(36回/年)(毎月第1,2,3土曜日) 未就園児親子を対象としたふれあいの場 ④ 児童虐待の関係機関との連携 ⑤ 幼稚園の3年保育及び預かり保育(3年保育12園・預かり保育10園)	①公立保育園1園、私園保育園2園で1時間、また他の公立保育園1園で30分の延長保育を実施し、共働き家庭の支援を行った。 ②学童保育の実施については、必要に応じて実施地区を広げてきた。21年度に15箇所で開催し、22年度は高倉学童保育の閉所により14箇所での実施となった。 ③子育て支援センターと吉備国際大学子育てカレッジの協働で「ゆうゆうひろば」を開設 月曜～木曜10～16時 毎週金曜オープンスペースを開催(6～3月) 43回 月1回川上地域で出前オープンスペースを実施 12回 ④家庭児童相談員を相談窓口として対応 要保護65件、要支援8件、その他9件の相談があった。(実家庭数41件) 児童相談所送致、職権保護 2件 高梁市子どもを守るネットワークで継続して対応中 ⑤3年保育を12園で、預かり保育を10園で実施している。毎月の各園での預かりの状況を把握し、必要に応じて保育サポーターの派遣を行っている。	4園 14箇所 保育サロン 158回2,290人 オープンスペース 55回1,487人 相談件数82件	子ども課 子ども課 子ども課 子ども課 学校教育課
		(2) 地域ぐるみでの子育て支援の推進	1 子どもの安全確保等地域防犯の推進 ①青色回転灯による自主防犯パトロール隊の結成促進 2 母親クラブの充実に向けての支援 ① 地域活動への参加、各種団体との交流など(各地域・各地区で7～8回/年) 3 子ども会活動の支援	①地域防犯の推進のため、青色回転灯による自主防犯パトロール隊の組織を促進した。 ①クラブ数 14クラブ 会員数 保護者200人 幼児278人 3 子ども会38団体(1,322名)に活動助成金を交付し、活動を支援した。 「こどもの日」記念行事として習字・写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。		市民課 健康づくり課 子ども課

基本目標	方針	施策の方向	具体的施策 (平成18年度～平成23年度)	平成22年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
IV 男女がともに健やかに過せる生活づくり	2 安心して子育てできる環境の整備	(3) ひとり親家庭への支援	1 ひとり親家庭の自立促進と支援 ①児童扶養手当の充実 ②母子自立支援相談	①ひとり親家庭等に手当を支給することにより、生活の安定と自立促進に努めた。 延支給人数 (全部支給) 940名 (一部支給) 1,424名 (2子加算) 900名 (3子加算) 252名 ②子どもの養育や生活について、様々な不安や悩みを抱えるひとり親家庭等に適切な対応を行なうために、母子自立支援員による情報提供、相談業務をはじめ、求職活動に関する支援を行った。 母子自立支援員相談件数 延 386件 内経済的支援に関する相談件数 延 245件	延支給 2,364名 相談件数延 245件	子ども課 子ども課
	3 高齢者・障害者が安心して暮らせるための支援	(1) 高齢者・障害者の福祉の充実	1 高齢者への支援 ① 地域包括支援センター等による支援体制の充実 ② 高齢者福祉サービスの充実 ・寝具類洗濯乾燥消毒サービス (2回/年) ・軽度生活支援サービス 他 ③ 各種介護サービスの充実 ・介護保険各種サービスの充実 ・介護予防教室等各種サービスの充実 ・住宅改修等支援 他 2 障害者への支援 ① 障害者自立支援法による障害福祉サービスの利用促進 ② 地域生活支援事業サービスの充実 (地域生活支援センター) ③ 移動支援等の充実 ④ 障害者(身体、知的、児童)福祉サービスの充実 ・居宅介護 (ホームヘルプ) ・自立訓練支援 ・共同生活援助 (グループホーム) ほか ⑤ 安心して相談できる相談体制の充実	①保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の専門的なスタッフを配置し、介護予防マネジメント、高齢者や家族の総合相談、虐待の防止・早期発見、高齢者及び障害者の福祉の増進を図るため成年後見制度利用支援など、高齢者等が住み慣れた家庭や地域で暮らし続けられるよう支援を行った。 ②寝具類洗濯乾燥消毒サービス：高齢者世帯等のふとん等の洗濯・消毒・乾燥を行った。 その他、軽度生活支援や生きがい対応型デイサービスなど高齢者に福祉サービスを行った。 ③地域包括支援センターでは、予防給付対象者の介護予防プランを作成し要支援状態の改善や重度化予防を図り、介護(転倒骨折)予防教室開催や住宅改修への支援等を行い高齢者の在宅生活が継続できるように支援した。 緊急通報装置の設置：高齢者の見守り体制整備事業として緊急通報装置を設置した。 配食サービス：栄養バランスのとれた食事の提供と安否確認を実施した。 ①障害者福祉サービスを必要とする障害者等に対して、介護給付・訓練等給付、自立支援医療給付、補装具の給付を行った。 ②地域活動支援センター(たかはし福祉作業所)延利用者数 113人(H22、118人) ③④障害福祉サービスを充実させることで、介護者の社会進出を促進するため、特に地域生活支援事業のうち移動支援、日中一時支援、訪問入浴サービス事業の促進。 ⑤障害について専門的な観点から(福)旭川荘へ相談支援事業を委託している。	寝具洗濯消毒乾燥利用者 152人 軽度生活支援利用者 1人 生きがいデイ利用者 3,359人 介護予防プラン作成 4,871件 延べ 311台 285人 23,763食 ④支給決定者数 移動支援 110人(93人)日中一時 60人(57人)訪問入浴 1人(1人) ⑤相談支援件数 171件(183件)	保険課 保険課 福祉課 保険課 福祉課 福祉課 福祉課 福祉課

基本目標	方針	施策の方向	具体的施策 (平成18年度～平成23年度)	平成22年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
IV 男女がともに健やかに過せる生活づくり	3 高齢者・障害者が安心して暮らせるための支援	(1) 高齢者・障害者の福祉の充実	3 介護者への支援 ①地域包括支援センター等による支援体制の充実 ②介護支援体制の充実 ・介護用品の支給 ・家族介護者元気回復事業 他	①社会福祉士及び保健師等により介護者への介護相談や家族介護継続支援事業等を実施し支援を行った。 ②介護用品の支給：要介護4・5の高齢者(市民税非課税世帯)を自宅で介護している介護者にオムツ等の介護用品を支給した。 ②家族介護者交流事業：介護者の心身のリフレッシュを図るために、日帰りや1泊旅行を行い、介護者同士の交流会を開催した。 ②認知症高齢者見守り事業：地域における認知症高齢者の見守りと支援を目的に、認知症サポーター養成研修会を開催した。 ②家族介護慰労金給付：要介護4・5の高齢者(市民税非課税)を自宅で介護していて、過去1年間に介護保険サービスを利用しなかった介護者に支給した。 ②在宅介護激励慰労金支給：要介護3・4・5の要介護者を自宅で介護していて、同居家族介護者に激励慰労金を支給した。	① 相談件数 延べ 8,289 件 ②用品対象者 47 人 参加者 116 人 研修会 8 回 受講者 580 人 対象者 2 人 要介護3：117 人 要介護4：62 人 要介護5：43 人	保険課 保険課
		(2) 高齢者・障害者の社会参加の促進	1 高齢者への支援 ① 高齢者の社会参加の促進 ・老人クラブ活動への支援 ・高齢者スポーツ大会等の開催支援 ・外出支援サービス 2 障害者への支援 ① 障害を持つ人が社会参加するための支援 ・さざんか憩いの家共同作業所、こだまの集い共同作業所の通所促進 ・地域への「心のバリアフリー」の意識啓発 ② 生きがいを持って生活を行うための支援 ・雇用・就労の支援 ・交流機会の充実 障害者スポーツ大会の開催(1回/年)	① 老人クラブの活動を促進し、健康と福祉の向上を図るため、各単位老人クラブ及び老連に補助金を交付した。 ①高齢者の健康増進を図るため、スポーツ大会を実施した。 ①(社)高梁市社会福祉協議会へ委託し福祉移送サービスを実施して、高齢者の社会参加促進を図った。 ①精神障害者家族会連合会〔たかはし会〕を中心に、各地域のさざんか会、さくら会、あおぞら会の組織育成支援を行い、患者や家族の親睦を図るとともに地域の理解が得られるよう活動の充実をはかった。 ①在宅精神障害者が生活訓練によって社会適応能力の向上を図る目的で活動している、NPO法人ハピネスたかはし会(さざんか憩いの家共同作業所、こだまの集い作業所)の活動支援を図った。 ②高梁市障害者スポーツ大会の開催 H22年6月5日(土)実施 176名参加	①老人クラブ会員数 4,950 人 健康づくり課 福祉課	福祉課 福祉課